大　会　規　則

1. 本大会は2023年度野球規則に準じて行う、但しグランドによってローカルルールを採用する。
2. 試合はトーナメント方式とする
3. 6年生は6回、4年生は5回までとしそれぞれ試合開始より6年生は85分、4年生は60分を過ぎて新しいイニングに入らない。
   準決勝まで時間内延長なしとし、同点の場合は抽選で勝敗を決める。
   決勝戦は、規定イニングもしくは時間が過ぎても同点の場合は以下のとおりとする。
   　6年生大会は特別延長を2回まで行い決着がつかない場合は抽選で勝敗を決める。
   　4年生大会は特別延長を行わず、抽選で勝敗を決める。
   特別延長とは、無死満塁で継続打順とし、前回の最終打者を1塁走者とし、2・3塁走者は順次前の打者とする。
   投手の投球制限は団員の健康を考慮し、6・5年生は1日当たり70球(当該選手終了まで)とし、4年生は1日当たり60球(当該選手終了まで)ととする。本部がカウントしおおむね6・5年生は60球、4年生以下は50球になった時にチームに伝達する。
4. 本大会は、3回終了時点で10点、5回終了時点で7点差をもってコールドゲームとする。なお、決勝戦についても適用とする。
5. 試合球はマルエス株式会社のマルエスJ号球を使用し、本部が準備する。
6. ホームベースは43．2㎝のものを使用し、ベース・ピッチャープレート他は学童野球で規定されたものを使用する。
   6年生大会は本塁−投手間は16m、塁間は23mとする。
   4年生大会は本塁−投手間は14m、塁間は21mとする。
7. 背番号に関し、主将は10番、監督は30番、コーチは28・29番とする。
   また、ユニフォームの揃っていないチームに関してはウエアー(野球に適した服装)に背番号を付けて出場できる。
   監督不在の場合は事前に本部に届ければ、コーチを代理監督として認める。
8. 試合中ベンチ入りできるのは、登録選手と代表者・監督・コーチ2名・スコアラーの5名とし、代表者・スコアラーはチームの帽子を着用することとする。
   連合チームの監督・コーチは背番号が重ならないこと。
9. 大会出場チームは、試合開始30分前までに到着し、メンバー表3通(原紙を含む)を本部に提出し、監督または代理監督の氏名を記入すること。
10. 試合中、降雨・雷雨・日没などによる試合続行の判断は審判団または主催者が決定し、チームが意見を申し出ることはできない。
    なお、6年生大会は5回、4年生大会は3回終了をもって試合成立するものとする
11. ルール上の審判に対する抗議は監督か当該選手のみ行うことができる。
12. 監督は抗議のほかプレーヤーの交代守備位置の変更を申し出ることができる。また、指示のために選手のもとへ行くことができる。
13. 試合中の作戦タイムは次の回までとし、1回40秒以内とする。
    (1)守備側タイムの回数
    　①守備側のタイムは1試合に3回以内とする。
    　　なお、延長戦の場合は2イニングに1回。投手交代の場合は回数に含まない。
    　②捕手又は内野手が1試合に投手のもとへ行ける回数は3回以内とする。
    　　監督が入れば「監督の1回」「内野手の1回」双方に1回を加える。
    　　なお、延長戦の場合は2イニングに1回行くことができる。
    (2)攻撃側タイムの回数
    　攻撃側のタイムは1試合に3回以内とする。
    　なお、延長戦の場合は2イニングに1回行くことができる。
14. 捕手は必ずJSBB公認のマスク・プロテクター・レガース・ヘルメット・ファウルカップを着用すること。なお、事故防止のため投球練習中も必ずマスク等を着用して捕球すること。
15. 打者、次打者、走者及びベースコーチは必ずJSBB公認のヘルメットを着用すること。
16. バットについてはJSBB公認少年軟式用を使用すること。
17. 審判員は各市規定の審判服を着用すること。球審については原則担当市が行い塁審は前審制とし各チームより1名を出すこととする。ただし審判員の親睦交流として担当市以外でも球審を務める場合がある。決勝及び準決勝は本部審判員で行います。
18. グランドの整備は試合終了後、両チームが速やかに責任をもって行うこと。
19. 競技中の事故について主催者は一切責任を負わない。各チーム必ずスポーツ保険等に加入しておくこと。また、試合会場までの道のりにおいて事故のないように留意すること。
20. 今大会で6年生大会の優勝チームは、全国スポーツ少年団大阪府予選会三島地区代表チームとする。
21. 降雨等による試合中止及び時間変更の場合は、大会本部から各市実行責任者を通じて各団代表者に連絡する。
22. 原則としてベンチ・グランド内でのサングラス着用は禁止とする。